

第3回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

会議名称	第3回米沢市農政審議会
開催日時	令和6年11月7日（木） 午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	米沢市役所 庁議室
出席者	会長 大和田 浩子（山形県立米沢栄養大学 健康栄養学部長） 副会長 小関 善隆（米沢市農業委員会 会長） 委員 二宮 啓一（米沢平野土地改良区 理事） 委員 鈴木 巖（山形県農業共済組合 理事） 委員 大竹 茂（山形おきたま農業協同組合 米沢地区総括理事） 委員 佐藤 政和（米沢市認定農業者会議 会長） 委員 安部 憲一（米沢市農業振興組合長会 会長） 委員 石塚 久子（米沢市消費生活研究会 会長） 委員 我妻 拓也（青年農業士） 委員 佐藤 修一（米沢青果株式会社 代表取締役社長） 委員 齋藤 義浩（置賜総合支庁産業経済部 農業振興課長） 委員 山下 亨（置賜総合支庁産業経済部 農業技術普及課長）
欠席者	委員 加藤 英樹（米沢商工会議所 会頭）
事務局出席者	産業部長、農政課長、農政課長補佐、農政課農政主査、農政課農産主査、農政課主任（農政担当）、農政課主事（農政担当）
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 協議 (1) 第2次米沢市農業振興計画（素案）について (2) その他 4 閉会
会議資料	次第、米沢市農政審議会設置条例、第3回米沢市農政審議会席次表、米沢市農政審議会委員名簿、第2回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】、第2次米沢市農業振興計画骨子案（概要）、第2次米沢市農業振興計画（素案）、第2次米沢市農業振興計画（素案）の修正内容等について
会議内容	
【1、2、4】省略 【3 協議】 (1) 第2次米沢市農業振興計画（素案）について 第2回審議会での意見を踏まえ修正した箇所を、資料「第2次米沢農業振興計画（素案）の修正内容等」に基づき、事務局から説明。 ・前回の意見に対する回答として、「今後検討していく」と回答しているものがあるが、例えば地域計画の策定が現在進んでいるが、今後策定を進めていく中で何かあれば計画に盛り込むということによいか。 ⇒農業振興計画としてはまずこの内容でいかせていただきたい。この計画を具現化する際に、改めて検討していく。 ・冬場の農業の振興というものが見当たらない。ハウス栽培者が少ない。冬の施設のバックアップがあってもいいのではないかなと思う。その点をもう少し考えてほしかった。 ・農業産出額の目標の変更について、この目標が達成できないようであれば農業が破綻してしまうので、この目標は妥当だと思う。	

第3回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

- ・有害鳥獣対策の大切さ・重要さがクローズアップされており、市街地でも被害が出ており、山間部は耕作放棄地が増えている。森林農村整備課が米沢市鳥獣被害防止中長期計画をまとめたところだが、それも参考にしながら、有害鳥獣対策について、農業振興計画に盛り込んでほしい。

⇒「第2次米沢市農業振興計画（素案）の修正内容等について」P7（27番）のとおり、前回から文言を追記している。米沢市鳥獣被害防止中長期計画について、森林農村整備課でパブリックコメントを実施しているところであるが、中身を精査していくときには、森林農村整備課と話をしながら進めていく。

- ・電気柵などは地域によっては全部のほ場を囲わなくては作物を作れない状況になっている。共同作業が追い付かなくて、別の方策も考えていかなければやり手がいなくなっていく。地域に人が住めなくなるという要因にもなっているという点で、もう少し踏み込んだ表現にしてほしい。

⇒農業振興計画に追加の文言を入れるかどうかは森林農村整備課と調整し、必要であれば追記していく。

- ・ほぼよい内容になっている。これを実行するかどうかにかかっているので、全力で取り組んでほしい。
- ・米沢市の再生協（米沢地域農業再生協議会）が果たす役割が大きい。再生協の中には生産調整の計画者（買取業者）がいるが、秋に参入してかささられていったという話が出ている。再生協の中で米の生産等について合意形成をしっかりと図っていく必要がある。どこかにその内容があってもいいのかと思う。
- ・米沢農業の課題として担い手の育成に力を入れる必要がある。外国人の労働者について、現在の技能実習制度は、畑作・果樹・花きを重点において実施されてきたが、今回新しい制度がスタートする。稲作、肉牛も実習として受け入れることができるとあり、米沢として期待がもてるといった。家族も移住することもできるようになるとのこと。今後の育成に外国の労働者の方にも力を向けていただきたい。
- ・もうかる農業の実現と掲げているが、再生協発行の冊子（米沢地域水田農業の概要）に産地交付金というものがある。市の振興作物に「ひまわり」とあるが、「ひまわり」より「スイカ」の方が生産者が多く、高収益にもなる。決して振興作物に「スイカ」を追加してほしいということではなく、茎ブロッコリーやブロッコリーなども含め、この振興作物を見直した方がよいのではないかと。冬の収益でみれば、寒中白菜など、冬でも収入が増やせるものがある。遠山かぶや雪菜はあがっているが販路をもっと米沢でPRした方がよいのではないかと。毎年同じ作物が記載されているため、見直してほしい。見直すことで若い人達も取り組みやすくなるのではないかと。

⇒産地交付金の振興作物については何年か前に野菜生産組合等で検討して変更したという経緯はある。協議会の中で話をしていきたい。伝統野菜は守っていくという意味合いでのせているという部分もあるので御理解いただきたい。

- ・産地化、ブランド化していかないと他県、他地域との値段の差がつかない。一点にしぼってがんばってもらえればもうかる農業へ進めるのかなと思う。
- ・雪菜をいっぱい作ってもらうというのも無理な話で、伝統野菜とほかの野菜を区別して考えるのは当然のことである。
- ・元気創造戦略の見直しを県でしており、置賜での意見交換等では、労働力の確保、人材の確保が一番の問題としてあがっている。米沢の振興計画の中にも盛り込まれているということで、今後実施していくことが大事となる。県も力を入れていきたい。
- ・担い手の方がもうかる農業ができるよう支援していくことが大事。災害が頻繁におこり、それに伴い被害がみられる。災害に強い基盤を作っていく必要がある。基盤整備とあわせ、効率的に水管理ができるよう施設を整備して取り組んでいただきたい。
- ・畑地化して本格的に園芸作物、大豆、そばへ取り組む方への支援にも目を向けていってほしい。県も一緒になって支援していく。

第3回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

- ・中山間地域の道路施策について、農業は、農業と生活が一体となって成り立つもの。コンパクトなまちづくりを都市計画の中でやっているが、耕作放棄地が増えていく。いかにそこに人に住んでもらって農業をやってもらおうという考えも必要ではないか。
- ・農村 RMO（庄内で2地域）に目をむけて事業化していければよいのではないか。
- ・過疎化を遅らせることができるのではないか。今後の課題となり得るのではないか。
- ・耕畜連携の分野で他の自治体と乖離がある。再生協の中でしっかりした位置づけをしていくことが必要となってくる。

（2）その他（事務局から事務連絡）

- ・再度素案を修正し、12月にパブリックコメント（コミセン、JA、市のHPに提示）実施予定。
- ・パブリックコメント実施前に、第2次米沢市農業振興計画（素案）の修正内容等について（今回の資料の横版のもの）を委員に配布する。
- ・パブリックコメントで意見があった場合で、修正が必要になった場合は、意見に対する回答を審議会に諮る。
- ・来年2月に第4回審議会の開催予定。